2027年３月期 第２四半期（中間期）決算
決算説明資料

2026年11月11日

株式会社 ロジネットジャパン

LNJ ロジネットジャパングループ

目次

事業構成・決算概要	1．事業構成	03
	2．損益計算書（P/L）	04
	3．地域別セグメント業績	05
	4．中間期 連結業績の推移	06
	5．貸借対照表（B/S）	07
	6．キャッシュ・フロー	08
業績予想	7．2027年３月期 連結業績予想	09
成長戦略	8．売上・利益拡大に向けた取り組み [営業方針]	10～12
	9．売上・利益拡大に向けた取り組み [設備投資]	13～15
企業価値向上のための取り組み	１０．株主還元・IR活動	16～19
参考資料	１１．参考資料	20～23

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

1. 事業構成

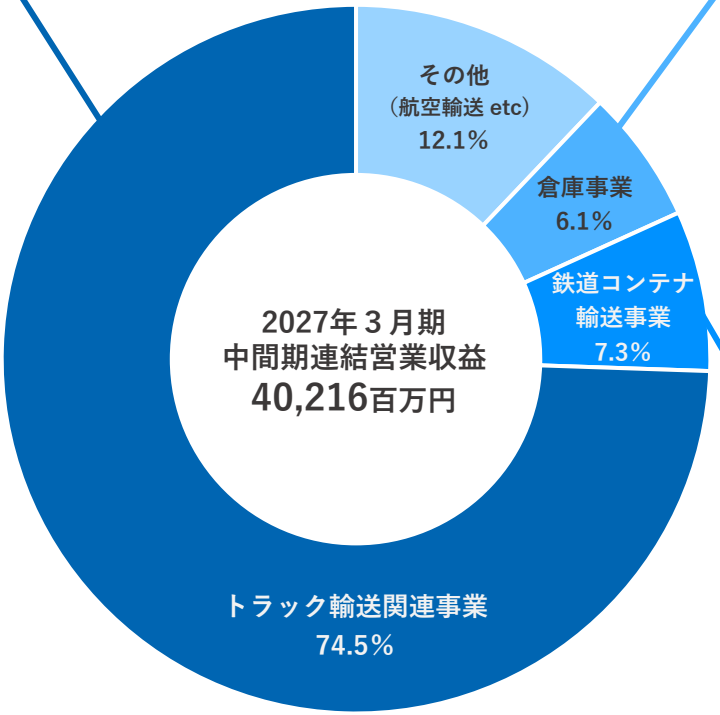
陸海空を網羅したあらゆる輸送手段で、
全国を結ぶ強固な自社物流ネットワークを構築

トラック輸送関連事業

フェリーを利用したトレーラー輸送による長距離輸送をはじめ、特別積合せ便、貸切便など多様な輸送サービスを展開。
EC物流事業では、全国各地のラストマイル専用拠点を起点に、軽貨物車両での宅配や拠点間輸送を提供。







倉庫事業

全国各地で約55,000坪の倉庫を保有。保管および付随する仕分け作業などの業務を提供。



鉄道コンテナ輸送事業

2023年度のJRコンテナ年間取扱数は全国２位、全国通運業連合会の加盟事業者(全通系)では全国１位。



Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

2. 損益計算書（P/L）

【経営成績の概況】

● 当社グループは、「**中期経営計画2025-2027**」に基づき、４つの営業方針である、「**ＬＮＪＥＸ**」、「**独自商品の拡販**」、「**国際物流事業**」、「**ＥＣ物流事業の拡充**」を中心とした営業活動の推進により営業収益の拡大を進めるとともに、車両の適正配置など輸送体制の見直しと強化や、業務のＩＴ化・効率化による収益力の強化に取り組んでおります。

● 当連結累計期間の
営業収益は前年同期比18億67百万円増（+4.9%）の**402億16百万円、**
営業利益は前年同期比１億74百万円増（+9.8%）の**19億53百万円**、
経常利益は前年同期比１億82百万円増（+10.4%）の**19億47百万円**となりました。

（百万円）

	2026年３月期 中間期（累計）	2027年３月期 中間期（累計）	増減	増減率（%）	主な変動要因
営業収益	38,349	40,216	1,867	4.9	大口取引先の取り扱い数量の増加および、新規取引先の獲得などにより増収
営業利益	1,778	1,953	174	9.8	増収効果に加え、業務効率化や経営資源の適正配置を推進するとともに、採算性を重視したコスト構造の見直しを図ったことにより、増益
経常利益	1,764	1,947	182	10.4	
親会社株主に帰属する中間純利益	1,361	1,625	264	19.4	政策保有株式の売却などにより増益

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

3. 地域別セグメント業績

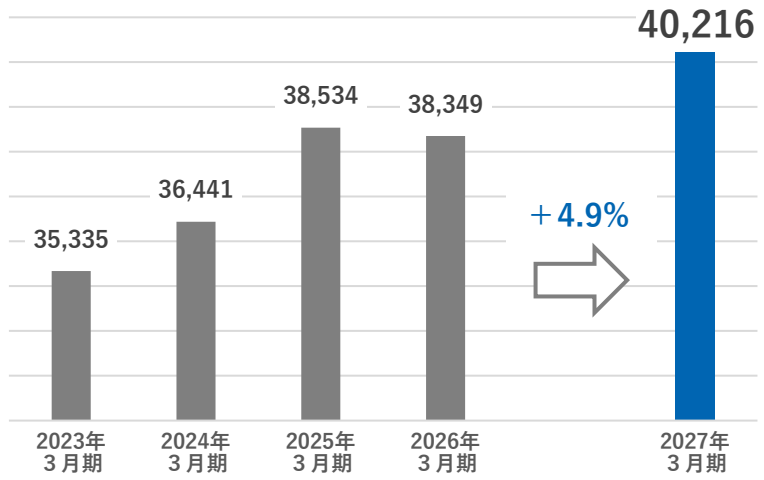
（百万円）

	2026年３月期 中間期（累計）	2027年３月期 中間期（累計）	増減	増減率（%）
営業収益				
北海道地区	10,886	11,450	564	5.2
東日本地区	15,732	16,414	681	4.3
西日本地区	9,867	10,421	553	5.6
セグメント利益				
北海道地区	416	528	111	26.7
東日本地区	909	1,038	129	14.2
西日本地区	254	252	△2	△0.9

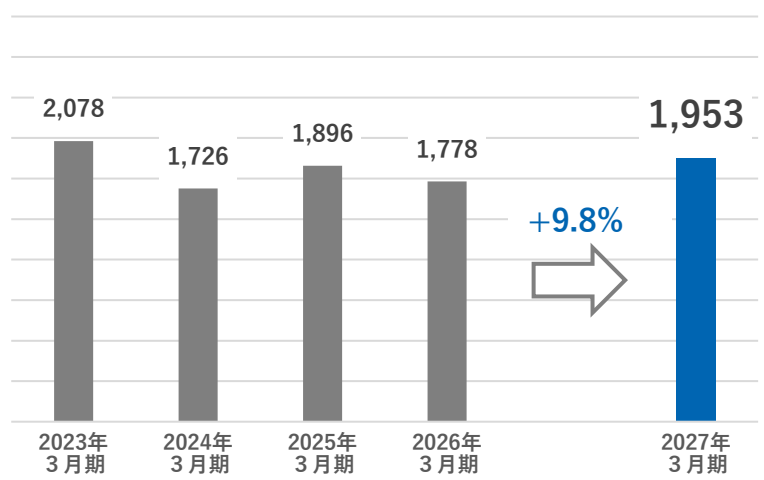
Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

4. 中間期 連結業績の推移

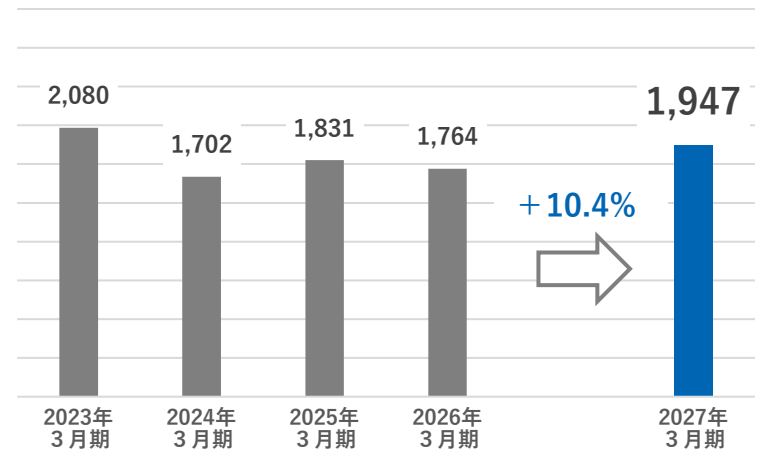
営業収益 （百万円）



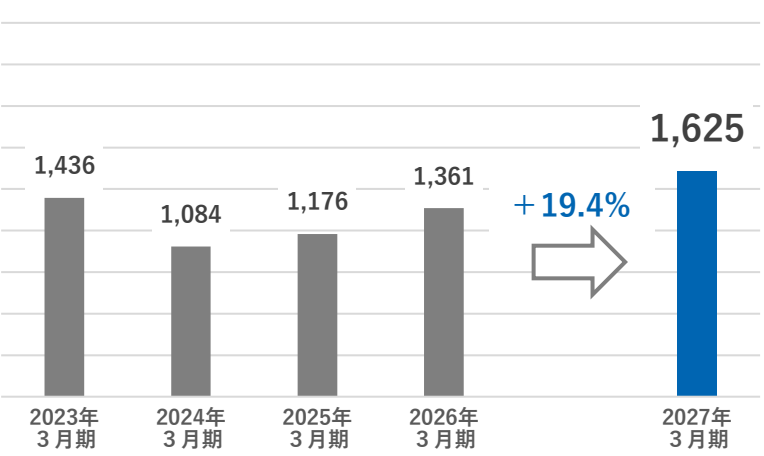
営業利益 （百万円）



経常利益 （百万円）



中間純利益 （百万円）



Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

5. 貸借対照表（B/S）

● **総資産**：倉庫の定温エリアの拡大や、車両等の設備投資を実施したことに加え、建設中の施設に係る支出等により、有形固定資産が増加したことから、11億91百万円増加し、**401億32百万円**となりました。

● **負債**　：設備投資に伴う資金調達として借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末から８億46百万円増加し、**173億56百万円**となりました。

（百万円）

資産の部	2026年３月期	2027年3月期中間期	増減
流動資産	11,139	10,238	△900
固定資産	27,801	29,893	2,091
有形固定資産	21,830	23,468	1,638
無形固定資産	790	868	78
投資その他の資産	5,181	5,556	375
資産合計	38,941	40,132	1,191
負債・純資産の部			
負債	16,510	17,356	846
流動負債	13,419	13,753	333
固定負債	3,090	3,603	513
純資産	22,431	22,775	344
負債純資産合計	38,941	40,132	1,191

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

6.キャッシュ・フロー

・**営業活動によるキャッシュ・フロー**：
営業活動により獲得した資金は、**23億70百万円**となりました。
主な要因は、税金等調整前中間純利益24億46百万円によるものであります。

・**投資活動によるキャッシュ・フロー**：
投資活動により支出した資金は、**24億27百万円**となりました。
主な要因は、倉庫の定温エリアの拡大および車両の導入、建設中の施設に係る支出等に伴う有形固定資産の取得による支出29億37百万円であります。

・**財務活動によるキャッシュ・フロー**：
財務活動により支出した資金は、**９億45百万円**となりました。
主な要因は、自己株式の取得と配当金の支払いによるものであります。

（百万円）

	2026年３月期中間期	2027年３月期中間期	増減
営業活動によるCF	2,436	2,370	△66
投資活動によるCF	△935	△2,427	△1,492
財務活動によるCF	△157	△945	△788
現金及び現金同等物期末残高	1,720	519	

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

7. 2027年３月期 連結業績予想

● 2027年度３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月12日発表値から変更はありません。

●「**中期経営計画2025-2027**」の２年目である2026年度は、営業方針に沿った積極的な営業活動を推進するとともに、**設備投資による売上拡大の基盤を強化**いたします。

●インフラの整備・強化により、LNJEX による事業領域の拡大を図るとともに、DDロジ、さくらスマイル引越事業などの**当社グループの独自商品の拡販、国際物流事業、EC物流事業の強化、**輸送力維持強化のための料金改定の推進などにより、営業収益目標の達成を目指します。加えて、引き続き内製化による自社輸送能力の強化とＩＴ活用による業務効率化を推し進め、継続的な収益力の強化を実現してまいります。

（百万円）

通期	2026年３月期	2027年３月期予想	増減	増減率（%）
営業収益	78,008	81,300	3,291	4.2
営業利益	3,711	3,840	128	3.5
経常利益	3,686	3,800	113	3.1
親会社株主に帰属する当期純利益	2,745	2,750	4	0.2

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

8. 売上・利益拡大に向けた取り組み [営業方針]

ロジネットジャパングループでは中期経営計画2025－2027に基づき、業績目標の達成に向けて、
以下の**4つの営業方針**を重点的な施策と位置付けています。

中期経営計画2025－2027 営業方針

1. LNJ EX
2. 独自商品の拡販
3. 国際物流事業
4. EC物流事業の拡充

1 LNJ EX

**全国ネットワークと多様な輸送モードを活用し、全国エリアで
お客様に最適な輸送メニューを提供するサービスです。**

全国ネットワークと幅広い輸送モードで EXPANDABLE
お客様のニーズに柔軟に対応し FLEXIBLE
迅速な輸送サービスを提供いたします EXPRESS

〈輸送例①〉長距離幹線輸送セレクション R&R

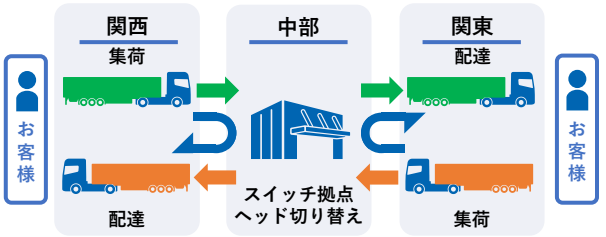
「無人化・大型化」をキーワードに、トレーラー輸送と
JRコンテナ輸送を複合的に組み合わせた輸送を提案



Road(ロード:輸送)と**Rail**(レール:鉄道輸送)

〈輸送例②〉トレーラースイッチ運行

スイッチ拠点でトレーラーヘッドを切り替えて運行区間を分割することで、
ドライバー１人当たりの運行距離と時間を短縮し安定輸送を実現



Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

8. 売上・利益拡大に向けた取り組み [営業方針]

2 独自商品の拡販

ロジネットジャパングループ独自の商品の拡販を通し、環境問題や物流業界の課題へ対応します。

DDロジ

１パレット単位で発注された荷物を最終納品先にダイレクトにお届け。
「コスト削減・作業削減・CO2削減」を実現しながら、国際物流事業においても利用推進中。

DDロジ の管理システムが特許取得！
DDロジのビジネスモデルを構成する管理システムについて独自性が認められ、2025年７月に特許を取得。

パレット単位で最終納品先まで直送！



特許 第7717032号 ＋ 専用紙パレット 実用新案登録 第3243394号

さくらスマイル 引越隊

総合物流企業としての輸送力を活かした全国エリアでの引越事業



単身引越者向け商品
さくらボックス

特許取得済み
特許 第7384659号

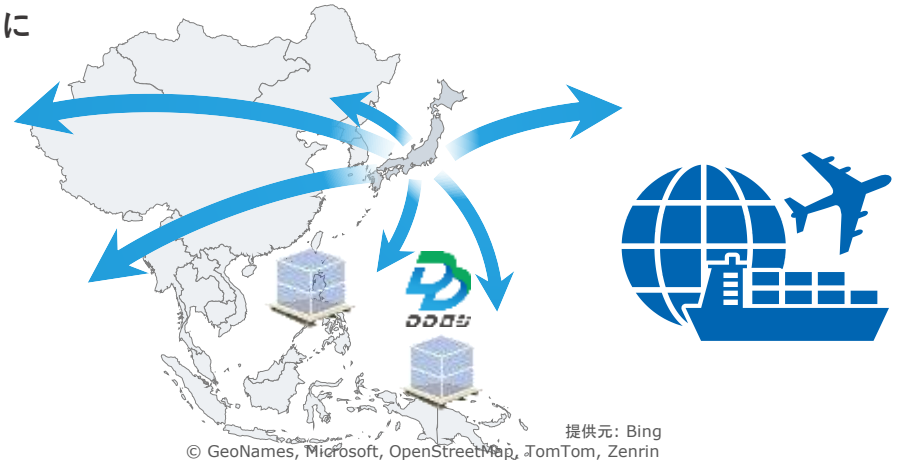
Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

8. 売上・利益拡大に向けた取り組み [営業方針]

3 国際物流事業

国内輸送の実績を生かし、グローバル市場にも対応した物流サービスを提供するため、国際物流事業へ本格的に参入します。

- 国内外のお客様に対してより広範なサービスを提供し、競争力を高めるための体制を整備
- 農産物輸送の実績やノウハウを活かし、増加が見込まれる農産物の海外輸出のニーズに対応
- 国際物流事業においても、当社の輸送商品ロロロジなど、環境に配慮した持続可能な物流を実現するための取り組みを推進



4 EC物流事業の拡充

これまでに培ったノウハウを活かし、今後も需要拡大が見込まれる輸送ニーズへの対応力を強化します。

- EC物流のニーズに応えるための基盤強化
- EC市場の成長・変化に対応した柔軟な物流事業の提供



Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

9. 売上・利益拡大に向けた取り組み [設備投資]

1 定温物流拡大に向けた体制整備

当社グループは、2026年度より、一定の温度を保ちながら商品を保管・輸送する定温物流体制を強化します。
近年、北海道でも猛暑が続いており、厳しさを増す気候変動と多様化する顧客ニーズに対応するため、定温輸送対応車両の増車と、札幌圏の主力倉庫の定温化対応の強化により、気候環境に最適化した物流サービスを拡充します。

設備内容（2026年度）





■ 定温輸送対応車輌

合計 49台

トレーラー



12台

トラック



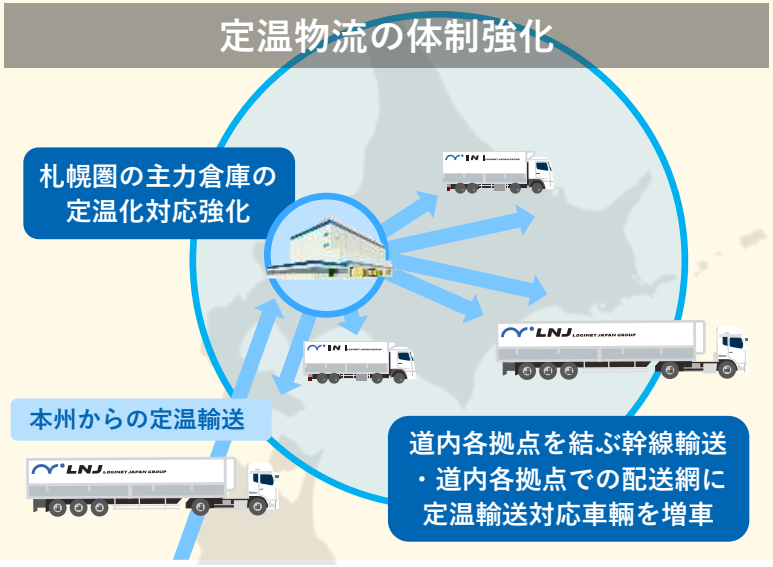
37台

■ 定温対応倉庫



約5,200坪

定温物流の体制強化



■ 定温輸送対応車両

札幌地区と道内各拠点を結ぶ幹線輸送、および、道内各拠点での配送網に定温輸送対応車両を増車することで、安定した温度帯での輸送を強化。

■ 定温対応倉庫

道内最大の物流集積地である「大谷地流通業務団地」内に位置する「大谷地倉庫」の定温対応エリアを拡大。当社グループの札幌圏の主力倉庫であり、JRコンテナ基地や道央自動車道・札樽自動車道へのアクセスも良好な、道内幹線輸送の起点倉庫の定温化対応を強化。

本件のリリースは、以下のQRコード及びURLよりご覧ください。

（札幌通運、北海道内で定温物流体制を強化）

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

9. 売上・利益拡大に向けた取り組み [設備投資]

② ＬＮＪ福岡センター（仮称）建設

2026年４月１日、福岡県糟屋郡粕屋町において、ＬＮＪ福岡センター（仮称）を着工いたしました。

建設背景

・2020年２月に㈱ロジネットジャパン九州を設立し、事業エリアを沖縄県まで拡大
・九州エリアでの更なる事業拡大を目指し、福岡に新たな物流施設を建設

投資内容



福岡市中心部から北東約10km。
高速IC至近、交通アクセスに優れた好立地

建設の目的

■ 「LNJEX」の推進
・九州⇔関西⇔関東をつなぐ輸送サービスの強化
・ 温暖化対策需要を見込む定温物流の実現

■ 国際都市福岡における国際貨物への取り組み



（完成イメージ）

■ 名称 ：ＬＮＪ福岡センター（仮称）
■ 所在 ：福岡県糟屋郡粕屋町戸原北4丁目
■ 延床面積 ：4,616.26㎡（1,396.4坪）
■ 着工 ：2026年4月1日
■ 竣工・稼働開始 ：2027年1月（予定）

本件のリリースは、右記のQRコード及びURLよりご覧ください。
（ＬＮＪ福岡センター（仮称）着工のお知らせ）

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

9. 売上・利益拡大に向けた取り組み［設備投資］

③ＬＮＪ帯広センター（仮称）建設

2026年９月１日、北海道帯広市において、ＬＮＪ帯広センター（仮称）を着工いたしました。

建設背景

・帯広センターは道内拠点の中でも、北海道の農産品を全国へ送り出す機能を担う重要拠点
・十勝エリアにおける輸送網の更なる強化のため、集荷・配送の中心である帯広センターを刷新

投資内容



・帯広市を代表する工業団地内に位置
・高速IC、JR貨物駅へのアクセスに優れた好立地

建設の目的

■ 定温倉庫の新設など、従来施設から機能の拡充を行い、輸送力の拡大と顧客ニーズに対応

■ 「LNJEX」の推進

・道東地区の輸送サービスを強化し、北海道・ 十勝エリアと全国を結ぶ物流体制を構築



（完成イメージ）

■ 名称 ：ＬＮＪ帯広センター（仮称）
■ 所在 ：北海道帯広市西19条北二丁目6番3
■ 延床面積 ：3,045.50㎡
■ 着工 ：2026年9月1日
■ 竣工・稼働開始 ：2028年1月（予定）

本件のリリースは、右記のQRコード及びURLよりご覧ください。
（ＬＮＪ帯広センター（仮称）着工のお知らせ）

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

１０. 株主還元・IR活動

（１）自己株式取得・消却について

１株当たり株式価値の向上による株主還元の拡充と資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするために、「中期経営計画2025-2027」における施策として、自己株式の継続取得を掲げております。

2026年度の自己株式の取得	
(1)　取得した株式の種類	当社普通株式
(2)　取得した株式の総数	253,000株 （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.62%）
(3)　株式の取得価額の総額	1,265,000,000円
(4)　取得日	2026年8月21日
(5)　取得方法	札幌証券取引所の立会外自己株式取得取引による買付け

2026年度の自己株式の消却	
(1)　消却した株式の種類	当社普通株式
(2)　消却した株式の総数	740,000株 （消却前の発行済株式総数に対する割合12.89%）
(3)　消却後の発行済株式総数	5,000,000株
(4)　消却日	2026年8月31日

（２）株式分割について

2026年10月１日付で、投資単位当たりの金額を引き下げてより投資しやすい環境を整えるため、１株を４株に分割いたしました。
なお、配当予想・株主優待は分割に伴う調整であり、実質的な変更はございません。

(1)　分割の方法	普通株式 1株につき4株の割合
(2)　発行済株式総数	（分割前）5,000,000株 （分割後）20,000,000株
(3)　基準日	2026年9月30日
(4)　効力発生日	2026年10月1日

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

１０. 株主還元・IR活動

（３）配当金について

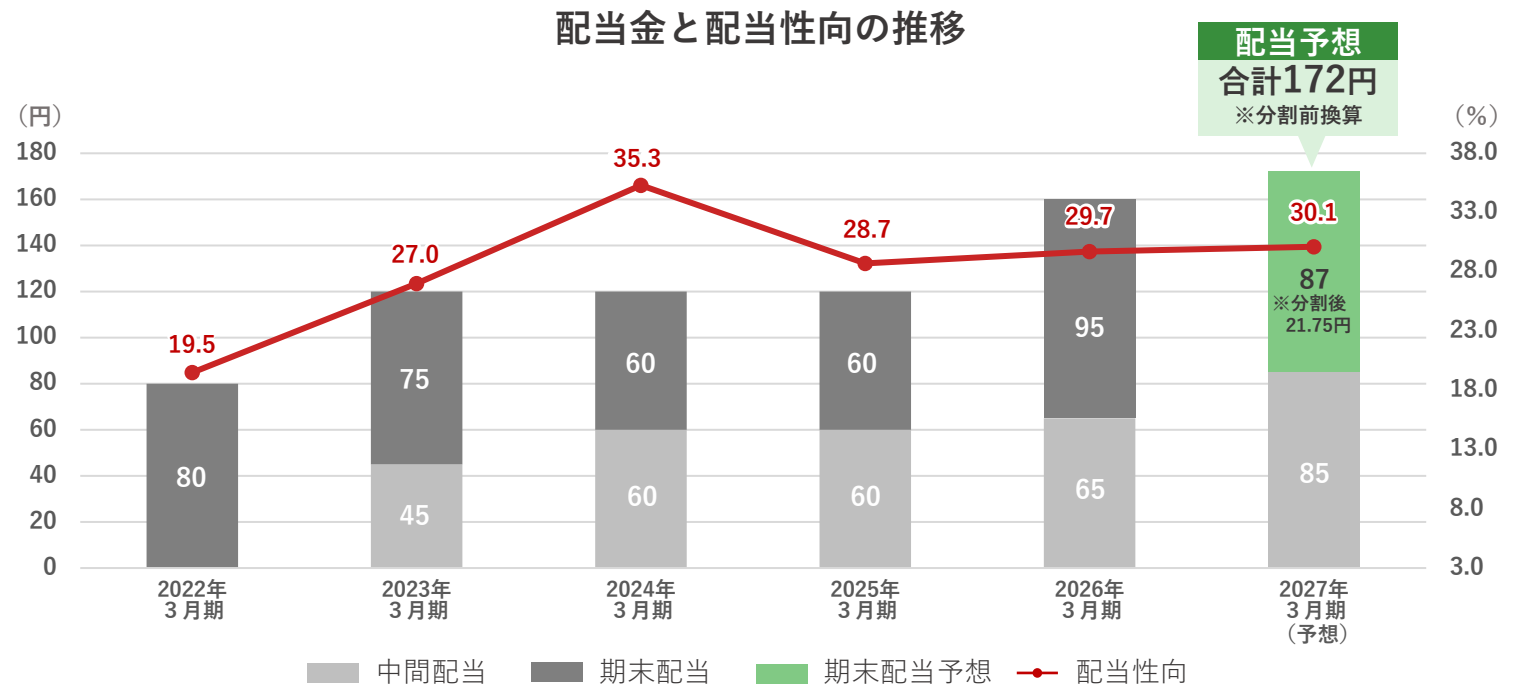
2027年３月期配当金（予想）

合計172円

（中間配当85円・期末配当87円）
※分割前換算

・当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけた上で、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。

・**2027年３月期の配当**は、「中期経営計画2025-2027」に基づき、株主の皆様への利益還元を強化する内容とし、**中間配当85円、期末配当87円、合計172円（※分割前換算）**を予定しております。



Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

１０. 株主還元・IR活動

（４）株主優待制度について

３月末日を基準日として、400株以上保有いただいている株主様に、当社が製造販売を行っている
ミネラルウォーター「**北海道大雪山ゆきのみず**」（１箱550mℓ24本入り）を贈呈いたします。

※2026年10月1日付の株式分割（1株➔4株）に伴い、対象となる持株数の基準を変更しております。
実質的な優待内容に変更はございません。

変更前	持株数	送付数
100～499株	400～1,999株	1 箱
500～9,999株	2,000～39,999株	5 箱
10,000～49,999株	40,000～199,999株	10箱
以降 5 万株毎	以降 20万株毎	10箱追加





「ゆきのみず」とは

ゆきのみずは、自然豊かな北海道大雪山で採水されたナチュラルミネラルウォーターです。全国の著名なホテルやレストランで客室冷蔵庫の飲料水、テーブルウォーター等にもご利用いただいております。

また、安心安全の品質が評価され、**モンドセレクション優秀品質最高金賞**を受賞（2026年度）したほか、札幌商工会議所の認証である「**北のブランド**」においても９年連続で金賞評価を得ております。



Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

１０. 株主還元・IR活動

（５）個人投資家向け説明会の開催

札幌会場

日時　　：2026年11月18日（水）13：30～
開催場所：札幌証券取引所

お申込みページ

東京会場（ライブ配信有）

日時　　：2026年12月16日（水）14：00～
開催場所：ＳＭＢＣ日興証券新丸の内ビル

※説明会にご参加いただくには、日興IRの会員登録が必要となります。

会員登録用URL

会場説明会申込フォーム

ライブ配信説明会申込フォーム

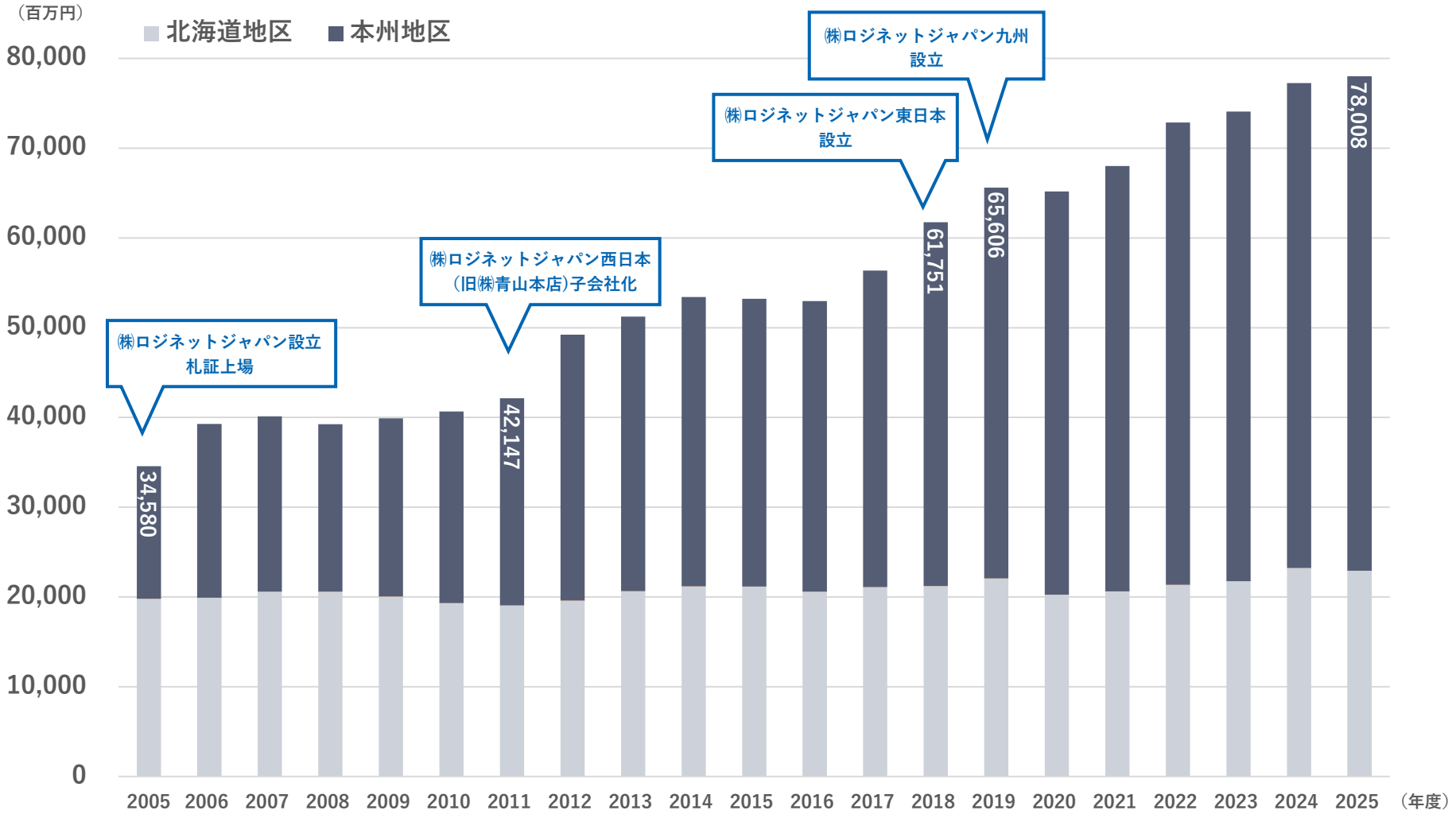
当社では、今後も株主・投資家の皆さまに向けた取り組みとして、IR資料の充実及びIR活動の強化に注力してまいります。

過去の説明会資料および説明会当日の動画を当社ホームページで公開しております。
QRコードまたは、こちらからアクセスしてご覧ください。

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

１１. 参考資料

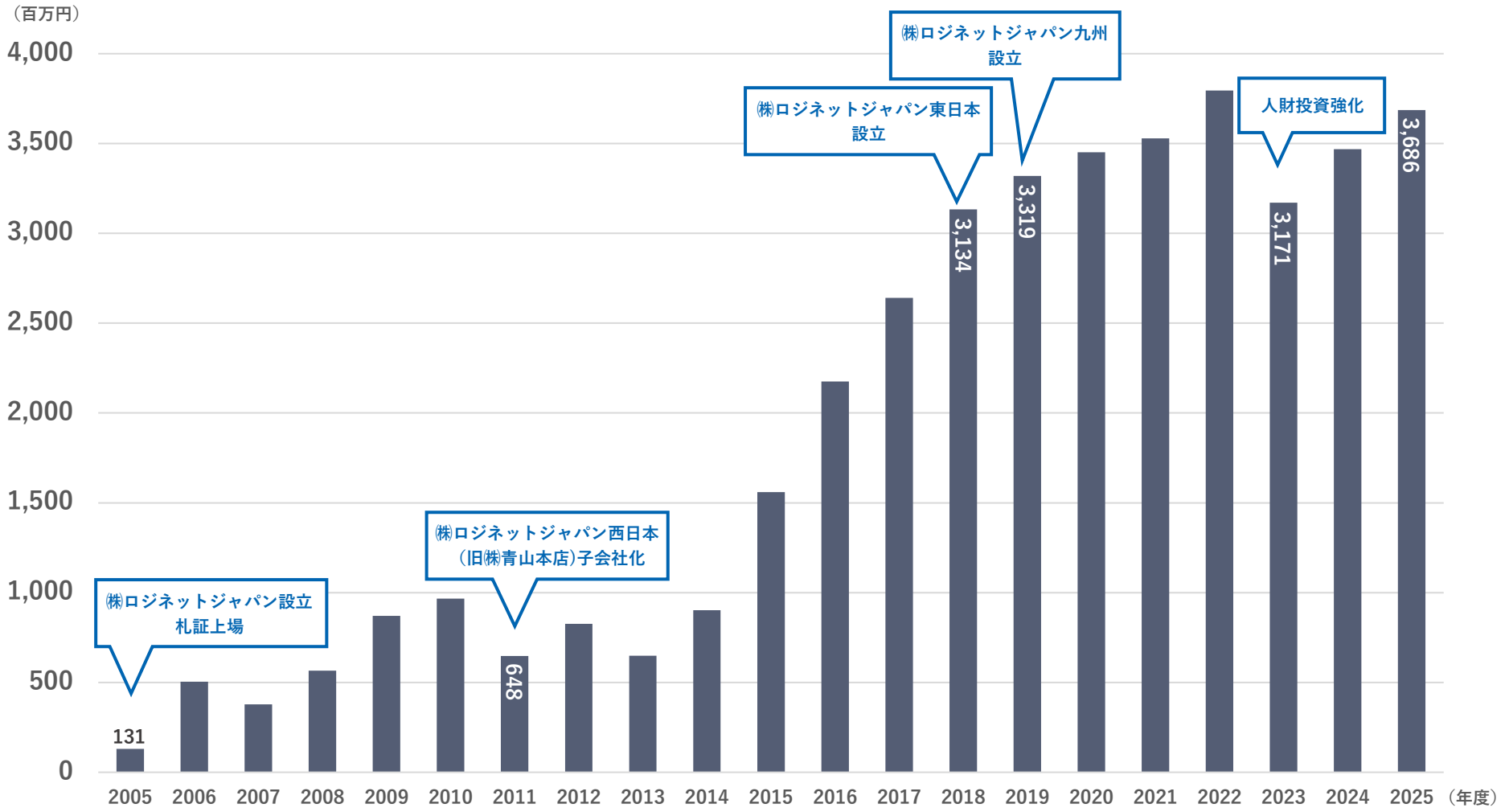
（１）売上高推移



Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

１１. 参考資料

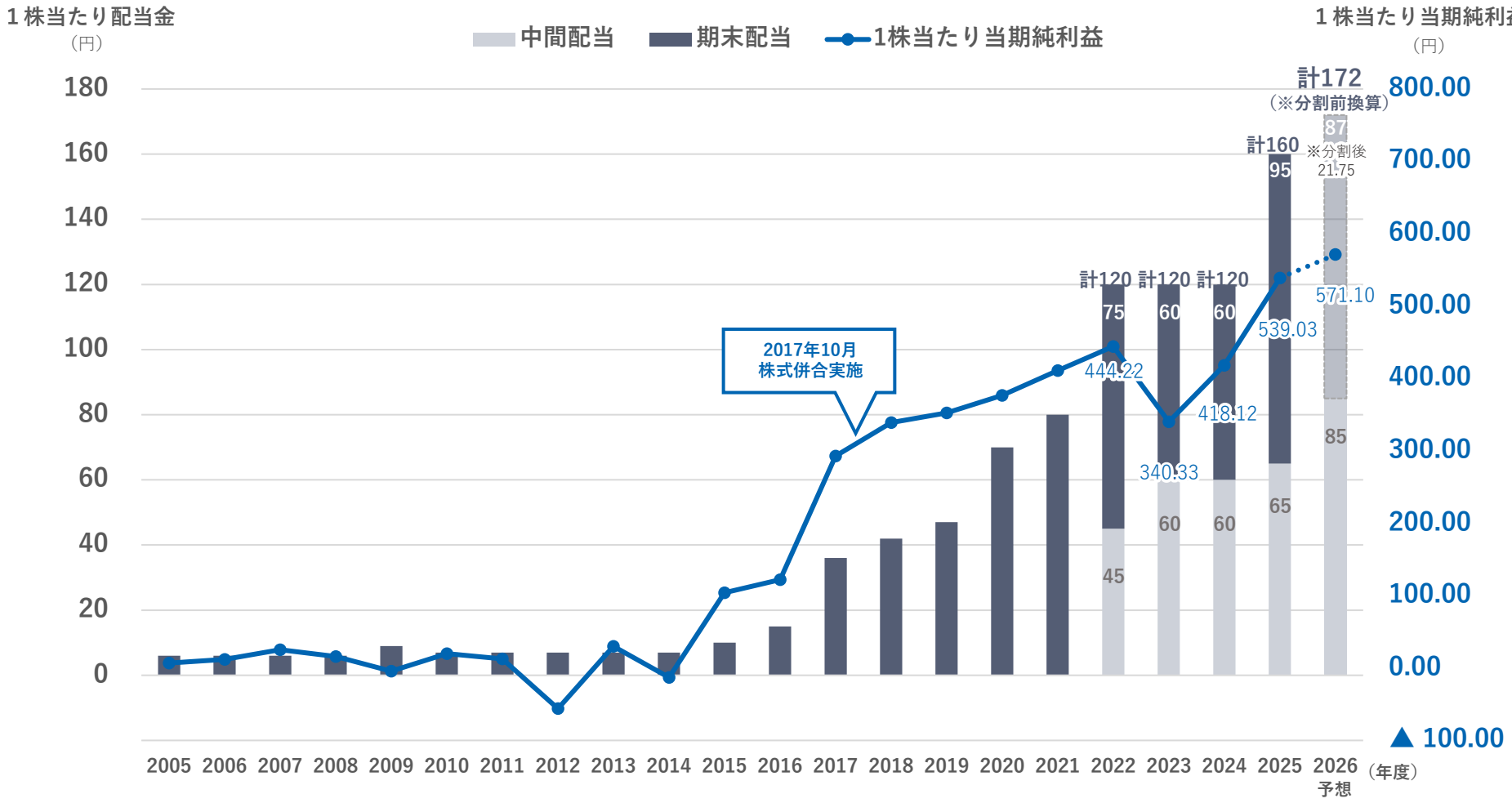
（２）経常利益推移



Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

１１. 参考資料

（３）配当金・１株当たり当期純利益の推移

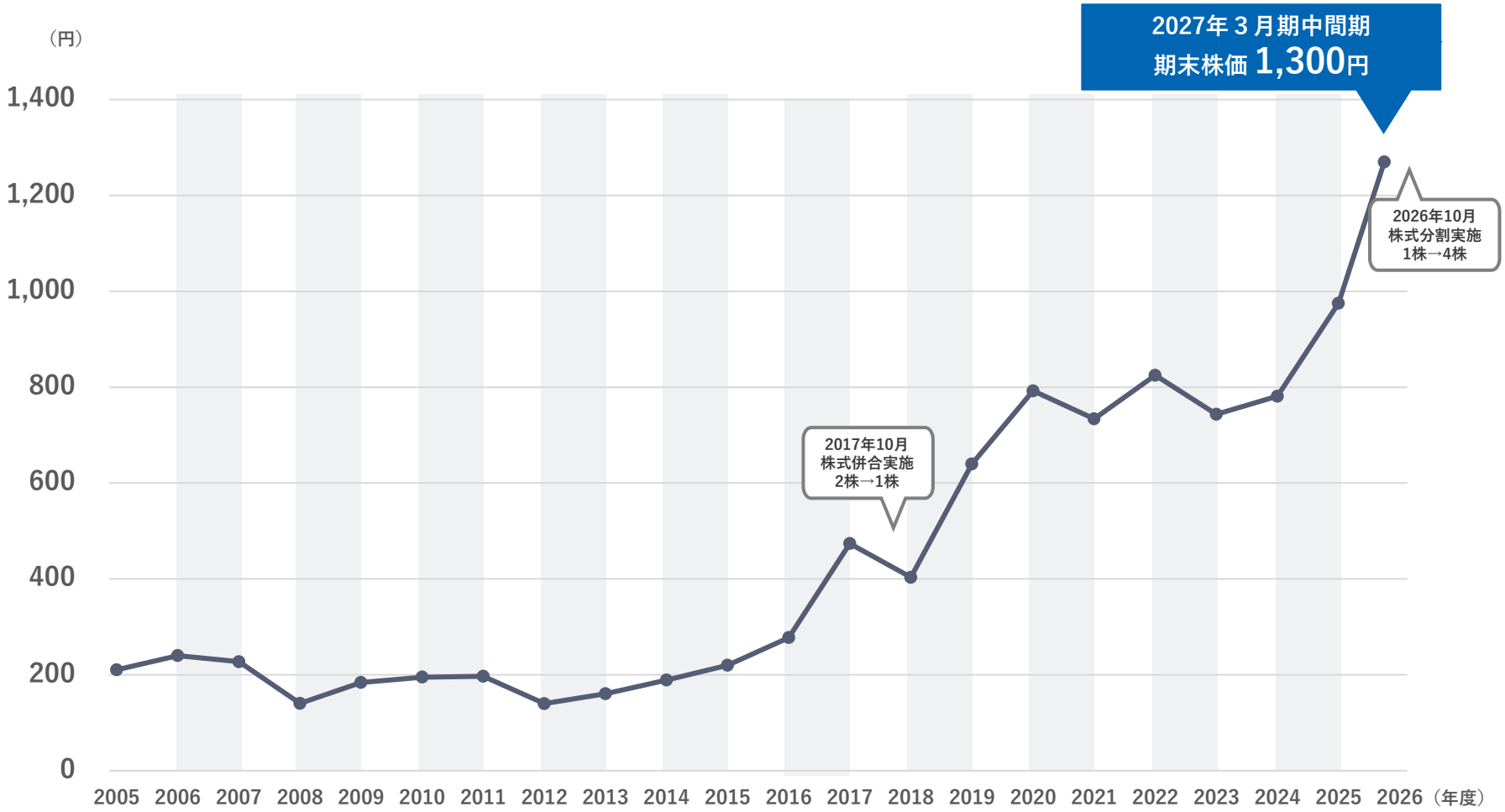


※グラフの数値は、株式分割前の基準で表示

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

１１. 参考資料

（４）株価推移



※年度末時点の株価を記載
※ 2017年10月1日付株式併合、2026年10月1日付株式分割を実施。グラフの株価は、現在の株式数に換算して表示。

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.

ロジネットジャパングループ

本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

Copyright ©2026 LOGINET JAPAN CO., LTD. All Rights Reserved.